

売れやすい作品にばかり経済性が伴う問題

AIがつくる効率的な価値で求められるものは

大丸松坂屋百貨店は、ユニークで文化価値のあるアートワークをプロデュースすべく、世界で通用するアーティストになるための起点をサポートするアーティスト育成プロジェクト「Ladder Project」を10月28日から開始する。

このプロジェクトは、AIが効率的な価値をつくりだす未来において、より求められるであろう感情的、情緒的な価値を体感できる百貨店を目指し、取り組みの。

Ladder Projectとは「次世代の

アーティストと世界をつなぐ架け橋」を意味する。この度プロジェクトの第一弾として、国立京都国際会館ほかにおいて有望な2人のアーティストの作品を展示する。

アーティストが安定的な評価を確立していくには、キュレーターなどアートの専門家たちが手がけるミュージアムや国際芸術祭などでのキャリアを重ねていくことが重要だ。

その中で近年、国際的な展覧会や芸術祭では、インスタレーションと言わ

れる空間全体を使うような壮大な作品が求められるようになってきた。しかし、そういった作品をマーケットで売出すことは非常に少なく、また発表にむけて十分な制作資金を得られない場合もある。そのため、ミュージアムや国際芸術祭などで評価を高めていくこと、その両者を金銭面で両立させることが難しい場合も多々ある。

こうした事情が続けば、売れやすい作品にばかり経済性が伴い、芸術性の探求を行うモチベーションや環境に深刻な影響を及ぼしかねない。そういった構造のねじれを解決するべく、これから世界で活躍することが期待されるアーティストを支援する「Ladder

Project」を設立した。

第一弾となる今回は、国際舞台を視野に入れた新作制作と、海外からも多くの人が訪れるArt Collaboration Kyotoでの作品発表を支援することとなった。

このような背景から大丸松坂屋百貨店は、2023年10月京都で開催されるArt Collaboration Kyoto(ACK)を契機とし、キュレーター山崎潤也氏の企画監修のもと、コマージュのみにとらわれない独自の表現を開拓し、多様な価値が見出されていく時代を歩むアーティスト、スクラップカワ落合安奈氏、玉山拓郎氏を選出。2人の新作をACKにて展示発表する。

佐藤英昭弁理士による『特許の哲学』 其の87

特許・商標等の出願件数が増加

法域/年	2021年	2022年
特許	289,200	289,530
商標	164,537	170,275

①前年度よりも特許・商標出願件数が増加

②米国・欧州から日本へなされた特許出願件数は、2020年まで減少傾向だったが、2021年には増加に転じ、2022年もその増加傾向は続いている

③商標審査の一次審査通知の件数については、審査の体制強化・効率化を促進した結果、2020年以降大幅に短縮(2020年:10ヶ月、2021年:8ヶ月、2022年:5.4ヶ月)

(特許審判部 特許事務所長)

「ニコン・エシロール」が展開する遠近両用の世界No.1ブランド「パリラックス」による老眼市場調査が行われ、日本特有の老眼問題の実態と世界市場とを比較した。

老眼の始まりのターニングポイントは45歳といわれる。歳をとるとシニ

アになって老眼に行き着くと思わぬが、人の目は10歳を過ぎたあたりから少しずつ機能が低下していく。

10歳では、十分な調節力を有しているで眼前8cmくらいまでよく見えるが、その機能は劣化するため20歳で約11cm、30歳で約14cm、そして40歳で約22cmまで遠ざかる。スマートフォンや読書では眼前から手元まで20~30cmの距離で

見ているため、この段階ではあまり不便を感じない。

しかし、45歳を過ぎたあたりから、近視点は35cmを超え、スマートフォンを見る手元に焦点が合わなくなる。老眼は突然始まるのではなく、徐々に機能が落ちていき、近点が30cm前後になった時に、老眼になったと自覚する。50歳で約50cmになり、老眼現象は60歳で約100cmまで遠ざかっていくといわれている。2023年現在では、日本人

口の半数以上(56%)が老眼になっており、2045年には全体の61%まで増加すると言われている。

現代人の目に起きている異常事態や世界の比較は、watch-jewelry-onlineで確認を。



日本のアンティークコイン市場は、市場規模や整理された統計データが公開されておらず、実態がつかみにくい状況にあるという。また、一部の販売業者による過剰な手数料の上乗せや陰謀論の流布、偽造コインの流通が見受けられる中、消費者は、「誰からの情報を信頼するか」「どのよう

ルが高い状態か」「ど」のよう、そうした事態を少しでも改善するた

インを販売する(株)アンティークコインギャラリー(東京都港区、渡辺孝祐代表)は、最高顧客責任者CCOの中田裕子氏が翻訳を手掛けた日本初のアンティークコイン市場ガイドブック「ECOINOMICS」を10月1日から発売した。9月19日には特設ページ(https://p.antique-coin-galleria.com/)を開設し、初回先行販売限定200部の受注を開始している。

著者:ロバート・パーキンソン、訳者:中田裕子、B5変形、304ページ、定価:6,578円。

め、アンティークコインギャラリーはかねてより、コインにまつわる調査結果の公開やSNSを通じた相場情報の開示などを通じ、コイン市場の健全化に向けて活動している。これまでにアンティークコイン市場におけるガイドブックが日本になかったことから、書籍の発売に至った。

そんな経緯から「倫しめながら資産を増やす」を理念に掲げ、希少性の高いコ



日本初のアンティークコイン市場ガイド 英国貨幣界の権威が完全レクチャー

「誰から購入するの」といった判断をせねばならず、最初の1枚のコインを購入するハードルが高い状態だ。そうした事態を少しでも改善するた

カシオ計算機は、手頃な価格で導入できる小規模企業向けの受発注サービス「BCDX」シリーズ「BC受発注」の提供を10月10日より開始する。パソコンやタブレット、スマートフォンから注

文業務が行え、小規模企業におけるDX化を支援する。

同社は、1992年より小規模企業向けの販売管理をメインとした業務システム「楽一」を提供し、売上請求・仕入購買・在庫管理といった基幹業務を30年にわたりサポートしている。

これまで小規模企業では、コストの高さや運用の複雑さから受発注システムの導入が進ま

ず、電話やFAX、メールで商品の受発注業務を行っており、受注側は注文の聞き間違いや読み間違いによる受注ミスや納品書を作成する手間が、発注側は発注の漏れや重複といった課題があった。

今回、小規模企業における受発注業務の課題解決とDX化の促進を目的に、手頃な価格に抑えた受発注サービス「BC受発注」を発売する。価格は、注文回数に応じた従量課金と固定の月額料金の2つのプランを用意。パソコンやスマホで受発注内容を入力・管理することで、受注ミスの防止のみならず業務効率化にも貢献する。

受注側は、発注元の名前、注文された商品、数量などのデータを一元管理し、販売管理システムと連携することで

納品書の出力まで行えるため、これまで手入力していた作業時間が大幅に削減される。

一方で、発注側は、スマホやパソコンの操作が苦手な方にも使いやすいシンプルなUIにこだわり、商品一覧から必要な数量を入力するだけで発注できる。発注履歴の確認や、発注回数順による商品一覧の並び替えなどにも対応。また、発注側は無料でサービスを利用でき、取引の活性化を実現する。

なお、2024年1月までは「楽一」のみとの連携を予定。

同社の小規模企業向け経営支援事業では、「難しいコトをカンタンに」をコンセプトに最適なソリューションを提供し、顧客の業務課題の解決、DX化を実現していく。

お取扱小売店舗大募集!!お気軽に問合せ下さい

NeoS クラスプ

ポキッと0.1秒!折るだけで取り外し可能な全く新しいマグネットパーツ!引き輪・フレートが付いたチェーンにも利用可能なNeoマグもご用意しています!

大切なピアス、安心して使いたいから

株式会社エクス

〒110-0015 東京都台東区台東4-8-7 ヒューリック仲御徒町ビル8F 担当: 遠山

TEL:03-5688-6081 Mail: info@ecmis.jp URL:https://www.ecmis.jp/

低価格で利用可能なカシオの受発注サービス

「楽一」を提供し、売上請求・仕入購買・在庫管理といった基幹業務を30年にわたりサポートしている。

これまで小規模企業では、コストの高さや運用の複雑さから受発注システムの導入が進ま

納品書の出力まで行えるため、これまで手入力していた作業時間が大幅に削減される。

一方で、発注側は、スマホやパソコンの操作が苦手な方にも使いやすいシンプルなUIにこだわり、商品一覧から必要な数量を入力するだけで発注できる。発注履歴の確認や、発注回数順による商品一覧の並び替えなどにも対応。また、発注側は無料でサービスを利用でき、取引の活性化を実現する。

なお、2024年1月までは「楽一」のみとの連携を予定。

同社の小規模企業向け経営支援事業では、「難しいコトをカンタンに」をコンセプトに最適なソリューションを提供し、顧客の業務課題の解決、DX化を実現していく。

「日本経済を牽引する「販促」の未来」をテーマに、時代の変化に対応したさまざまな販促グッズや、販売促進ギフト・マーケティングの国際的な専門見本市「第68回インターナショナル プレミアム・インセンティブショー秋2023」(PIショー)が、10月4日~6日、東京池袋・サンシャインシティ文化会館ビルのコンベンションセンターで開催される。時間は10時~18時(最終日17時)。

10月4日~6日、池袋

「日本経済を牽引する「販促」の未来」をテーマに、時代の変化に対応したさまざまな販促グッズや、販売促進ギフト・マーケティングの国際的な専門見本市「第68回インターナショナル プレミアム・インセンティブショー秋2023」(PIショー)が、10月4日~6日、東京池袋・サンシャインシティ文化会館ビルのコンベンションセンターで開催される。時間は10時~18時(最終日17時)。

「日本経済を牽引する「販促」の未来」をテーマに、時代の変化に対応したさまざまな販促グッズや、販売促進ギフト・マーケティングの国際的な専門見本市「第68回インターナショナル プレミアム・インセンティブショー秋2023」(PIショー)が、10月4日~6日、東京池袋・サンシャインシティ文化会館ビルのコンベンションセンターで開催される。時間は10時~18時(最終日17時)。

年内最後の大規模宝飾展! 390社が出展

67万点のジュエリー・アクセサリが一堂に展示・販売

第11回 国際宝飾展 秋

通称 秋のIJT

2023年10月25日[水]~27日[金] 10:00~18:00 (27日[金]17:00まで) パシフィコ横浜

秋のIJT 来場のメリット

- 製品を「実際に見て」比較・検討
 - ハイジュエリーからライトジュエリーまで幅広く出展
 - 出展社イチオシの秋のIJT限定製品も多数
- 作品製作に最適な場
 - 素材・パーツが37万点 出展(ダイヤモンド、パール、天然石...等)
 - トレンド/最新のデザインを学べる
- 業界参入に絶好の機会
 - SNS販売が可能なインフルエンサーの需要が急増
 - 会場内でライブ販売もできる

最新の出展社・製品情報はWebへ

- 出展製品を写真付きで掲載
- カテゴリー別に検索可能!(製品・素材・価格帯 など)
- 出展社・製品検索ページはこちら

動画でも秋のIJTをご紹介します

動画へのアクセスはこちら

前回は(2022年)会場風景

掲載の出展社数は、2023年8月17日時点での最終見込み数字であり、開催時には増減する可能性があります。また出展社数は出展契約企業に加え、共同出展するグループ企業・パートナー企業数も含まれます。

招待券のご請求はWEBへ

※入場には1名様につき招待券1枚が必要 ※18歳未満の方が来場される場合は、保護者もしくは引率者(18歳以上)が必要です。 ※招待券をお持ちでない場合、入場料5,000円/人

【問合せ先】 主催者 RX Japan株式会社 国際宝飾展【秋】秋のIJT事務局 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-2-1 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー11階 TEL:048-233-9247 E-mail: ijt.jp@rxglobal.com